

重点ヒアリング事項の選定方法

◎優れた点・特色ある点：令和7年度中期計画進捗状況報告書の特記事項に掲載を予定している事項を踏まえて選定。令和8年度第1回分科会で審議。

◇改善・充実を求める点：令和6年度中期計画進捗状況に対する所見を踏まえて選定。令和7年度第4回分科会で審議。

その他：公立大学分科会で審議。

令和8年度公立大学分科会から東京都公立大学法人に対しての重点ヒアリング事項一覧

※各校・法人のヒアリング時間の冒頭で、下記重点ヒアリング事項についてのヒアリング時間を設ける。

No.	対象	優/ 改善	大項目 番号	指標 番号	重点ヒアリング事項	特記事項/所見 該当部分
1	都立大	◎	—	—	令和8年度第1回分科会で審議	—
		◇	4	1-2-4 ② 1-2-5 ②	在籍留学生数及び海外派遣学生数 に向けた取組	・在籍留学生数について、量的・質的充実に向けて様々な取組に努めているものの、令和10年度までに在籍留学生数を940名以上とするという評価指標を達成するための道のりは容易ではない。要因分析を踏まえた対策を講じるとともに、卒業後も国内に定着する留学生の増加を図るためのキャリア支援等にも取り組むことが望まれる。 ・海外派遣学生数について、6年間累計で2,100名以上の学生を派遣するという挑戦的な評価指標の達成は容易ではないが、国内外の経済状況等を踏まえた予定値を検討しつつ、派遣学生数の増加に取り組んでいくことが望まれる。
		◇	7	1-3-1 ② 1-3-2 ①	研究力強化に向けた取組	・被引用率トップ10%論文の割合について、前年度に発表された論文の被引用率が令和5年度に比べ向上するなど改善の兆しがみられるが、10%以上を維持するという評価指標の達成には時間を要すると見込まれる。現状の分析を踏まえて、今後も各種研究支援の見直しや強化等の継続的な取組が望まれる。 ・世界的な研究拠点の形成を目指し、研究センター等において最先端の研究に取り組んでいるが、トップ研究者をコアとした研究体制を6年間で2件以上形成するという評価指標の達成に向けて、更なる施策の検討が望まれる。
2	産技大	◎	—	—	令和8年度第1回分科会で審議	—
		◇	—	—	—	—
3	高専	◎	—	—	令和8年度第1回分科会で審議	—
		◇	—	—	—	—

4	法人	◎	—	—	令和８年度第１回分科会で審議	—
			21	4-1-9	女性教員比率の向上に向けた取組	・都立大において、女性教員採用枠を創設するための学長裁量枠の見直しを行うなど、比率向上に取り組んでいるが、今後、評価指標の達成に向けて、課題の分析と対策を明確にして取り組むことが望まれる。また、女性の活躍推進を行う上では、男性の育休取得率向上等、男性の働きやすさに着目した施策についても検討するなど、更なる取組の充実が期待される。
		◇	23	4-2-1 ①	寄附金獲得に向けた取組	・寄附金の募集について、現状は産技高専を除き寄附金の獲得額は高くないため、寄附者が寄附の意義を感じられるように寄附の活用状況等の情報を発信するなど、更なる工夫を検討するとともに、具体的な寄附金収入の目安を持って取組を充実させることが望まれる。

東京都公立大学法人の業務実績評価方針及び評価方法(抜粋)

５ 評価の方法 （２）見込評価及び期間評価 ア 項目別評価 （ア）業務実績の検証

項目別評価を実施するに当たって、法人から提出された業務実績等報告書等を基に検証を行う。

検証に当たっては、中期計画に記載されている各項目の業務の実績について、評価指標の達成状況など客観的な事実を用いて中期計画の進捗・達成状況及び成果・効果を確認するとともに、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行う。

検証は、法人からのヒアリングにより実施する。なお、公立大学分科会が予め指定する事項については、より詳細なヒアリングを行う。

※見込評価及び期間評価の実施方法に準じて、中期計画進捗状況確認のヒアリングも実施する。